

ステップアップ

好評発売中

GTR 歯周組織再生誘導法

保険導入されたGTR法について、
簡潔な基礎的解説を基に、GTR法の基本術式、
臨床ステップ等を図解したタイムリーな書。

山田 了 編

- A4判/80頁
 - オールカラー
 - 定価 5,040円
(本体4,800円+税5%)
- ISBN978-4-263-44265-4

「臨床編」より

PHASE 1 GTR法の術式 和泉雄一ほか

- 01 一次手術 (切開, 剥離, メンブレンの設置, 縫合)
- 02 二次手術 (非吸収性メンブレンの除去)
- 03 参考症例
 - A-裂開型骨欠損症例
 - B-下顎2度根分岐部病変症例
 - C-骨内欠損症例①
 - D-骨内欠損症例②

PHASE 2 基本となるフラップ手術 伊藤公一

- 01 フラップ手術計画の立案
- 02 フラップ手術の基本的事項
 - A-ポケット除去・深さの減少が想定されるケース
 - B-付着歯肉幅の拡大が想定されるケース
 - C-切開線の種類
 - D-フラップ (歯肉弁) の種類
 - E-フラップ (歯肉弁) の形態的分類
- 03 適応症
- 04 手順

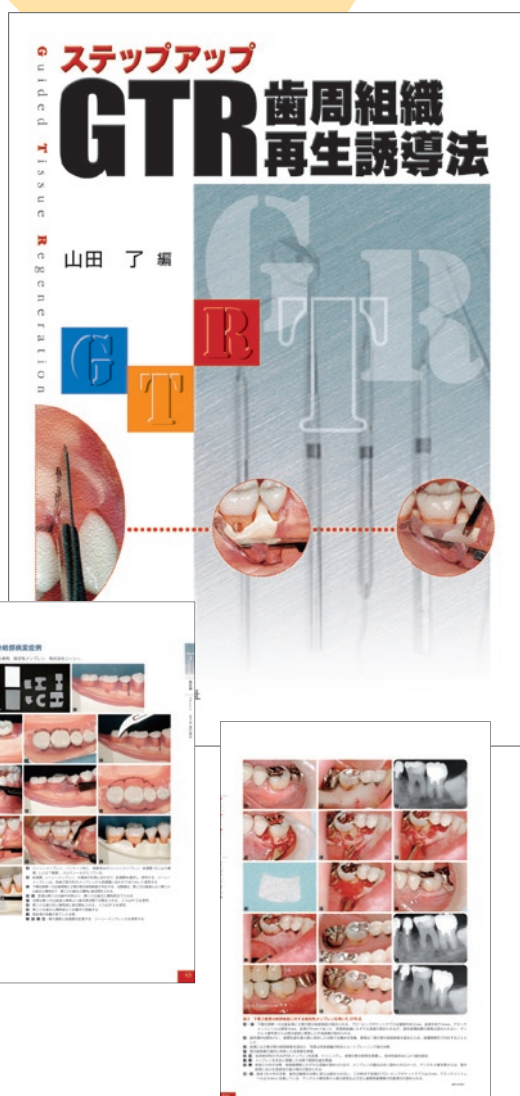
PHASE 3 臨床例によるステップ 申 基喆

- 01 GTR法による歯周組織再生の実際
 - A-2度根分岐部病変の治療
 - B-垂直性骨欠損の治療
 - C-歯肉退縮の治療

PHASE 4 GTR法にかかわる諸問題への対応

山本茂樹ほか

- 01 メンブレンの露出に対する対応
- 02 GTR法における根面処理の有効性
- 03 GTR法を用いるのに問題を含んでいる症例



医歯薬出版株式会社

〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10 TEL.03-5395-7630 FAX.03-5395-7633 <http://www.ishiyaku.co.jp/>

GTR法の適応症例を多数提示して、成功に導くために 必要なキーポイントをわかりやすく解説.

「基礎編」より

PHASE 1 歯周組織再生誘導 (GTR) 法とは

田中昭男

- 01 新付着とは (再付着との違い)
- 02 セメント質再生
- 03 歯根膜再生

PHASE 2 GTR法の適応症 稲垣幸司ほか

- 01 根分岐部病変の診断
- 02 垂直性の骨内欠損の診断
- 03 歯肉退縮の診断

PHASE 3 保護膜素材の特性—国内で流通している膜の種類と特徴 佐藤 聡

- 01 非吸収性膜
 - A-ゴアテックス®GTRメンブレン
 - B-ゴアテックス®TRメンブレン
- 02 吸収性膜
 - A-合成高分子膜
 - ①ジーシーメンブレン

B-コラーゲン膜

- ①バイオメント™
- ②コーケンティッシュガイド™

PHASE 4 GTR法を成功させるための注意点

澁川義宏

- 01 臨床において手術野に歯根膜由来細胞を誘導するスペースメイキングのポイント
- 02 骨欠損形態に適した保護膜選択のポイント
- 03 GTR法の症例においての吸収性膜と非吸収性膜の使い分けのポイント

PHASE 5 GTR法の予後判定の検査法

島田靖子ほか

- 01 GTR法の予後判定の検査
 - A-プロービングによる検査
 - B-X線写真による検査
- 02 GTR法の予後に影響する因子
 - A-局所的要因
 - B-全身的要因

●執筆者 (執筆順)

大阪歯科大学
田中昭男

愛知学院大学歯学部
短期大学部歯科衛生学科
稲垣幸司

愛知学院大学歯学部
菊池 毅
三谷章雄
伊藤正満
松本歯科大学
吉成伸夫

愛知学院大学歯学部
野口俊英
日本歯科大学
新潟生命歯学部
佐藤 聡
東京歯科大学
澁川義宏

新潟大学大学院
医歯学総合研究科
島田靖子
奥田一博
吉江弘正

東京医科歯科大学 大学院
医歯学総合研究科
和泉雄一
小田 茂
秋月達也
高崎アリストオ敦志
須田智也

日本大学歯学部
伊藤公一
明海大学歯学部
申 基喆
東京歯科大学
山本茂樹
山田 了

郵便はがき

113-8790

255

(受取人)
東京都文京区本駒込 1-7-10
医歯薬出版株式会社
歯科宣伝 行



ステップアップ GTR歯周組織再生誘導法 ()冊
()冊
()冊

● お名前 _____
〒 _____ TEL. _____
● ご住所 _____
□ ご指定納入店 _____ 支店

□ 直送希望 (一回の発送につき手数料400円別途かかります。)

切り取って
お出してください。

料金受取人
本郷局承認
4997

差出有効期間
平成21年6月
30日迄
切手不要

本文書